



= 第1号 =
2022年4月11日
新庄北高校
進路指導課発行

← 卒業生デザインのロゴ

※ちなみに「ホップ ステップ ジャンプ」と素直に呼びます。

= 新年度開始。ドンと胸をはれ、新北生！ “前に進む” が正解だ =

本質であるからこそ、答えは虹色。 永遠の課題 「どのように“進む”のか」

世の中には、目標まで最短距離で物事を進められる、「要領が良い人達」がいます。「できる人」とか「頭の回転がはやい人」などと呼ばれ、社会でも大変に重宝されます。対して、プロジェクト達成のために、人より多くの時間をかける（かかる）人達もいます。名付けて「**回り道組**」。よく“回り道が結局は近道”→「急がば回れ」、という言葉がありますが、最近はあまり流行りません。現代はスピードと変化があたり前の時代であり、よりスマートさを要求されているから。まっすぐな道は、安全で舗装もされた効率よく走れる道。「できる人」とは、**効率のよい道を探し出せる能力**を持っている、現代社会の寵児と言っていいでしょう。

一方、回り道組はどうだろうか。今まで出会った回り道を想像してみると・・・①障害物がある ②害虫や凶悪な生物と出会う ③（高い確率で）邪魔する人がいる、盗賊とか……。こんな状況の中であって、「回り道組」は、とても焦ります。まだ着かない、まだ終わらない、あの人はもうあんな所に……。中には耐え切れずに途中で諦めたり、脱落したりする人もいたりします。そして、何とかゴールする。……。あなたはどっち？

21世紀の社会に「**人財**」という言葉が生まれました。材料の「材」ではなく、宝物をあらわす「財」。人間は**自分が経験したことのない「多様な経験」をしてきた人に魅力を感じる**ものです。多様な経験とは、何かを「乗り越えた経験」。つまり「苦労してきた経験」です。できる人は、その余った時間を使って、何かの経験を積みまします。ただ、回り道組の人達は、**回り道なりの多種多様な経験とスキルを身につけている**。それはまっすぐな道では決してできない経験なのです。あっという間に、傷ひとつ無く目的地に着いた人達からすると、**その能力は魅力であり脅威でもある**。そんな「最後まで走りきった回り道組」を、世間では“人財”というらしい。

高校3年間は色々あります。そして、みなさんにはいろんな「道」が用意されていて、速い時も遅い時もある。部活動でも、友人とのケンカでも、怪我との闘いでも、学校行事でも。今日は「できるやつ」にもなるし、明日には「どんくさい」と思ってしまうこともあるでしょう。**ドンと胸をはれ、新北生！ “前に進む” が正解だ！**

総じて「回り道」が多いのが高校時代。それは若さの証です。最大の回り道は受験勉強かな。

老子という古代中国の偉人が言っています。「曲がれば即ち全(まった)く、枉(かが)まれば即ち直(なお)く。＜曲則全、枉則直＞」。現代語訳は、**木々は曲がることで、光のさす方へ伸びていく。曲がることで、最後までやり遂げられる。**

この言葉が心の支えの1つになってくれたら幸いです。

【 受験生 自己変革のための“進路10カ条” 】

進路指導課

- 1 まずは、**世間**を知れ、**仕組み**を知れ。そして**対応**する。
- 2 「適性」や「性格」などと言っているのは、
“自分の将来”について考えることを諦めているだけ。
- 3 **可能性は「まだ無限大に近い場所」にある。**
- 4 準備なくして、達成なし。
指導なくして、達成なし。君は、まだまだ未熟だ。
- 5 **応援してもらえる人になれ。**
親も、先生も、クラスメイトも“人間”だ。
- 6 あなたの力を2倍、3倍にするのが**準備**と**指導**。
でも、君が「ゼロ」なら意味がない。
- 7 相談することと、**決定すること**は違う。
何を人まかせにしているのだ。
- 8 **勉強したものが強い。圧倒的に強い。**
- 9 甘い話にのるなら、覚悟してのれ。
- 10 「その1回」に懸ける準備の中に、大事な事の
すべてがある。明日試験だったら、悔いはないか。

頑張るだけじゃない。頑張り抜けるかどうか。 頑張り抜け、3年生！！